

胃に異常所見をみた場合、常に癌を疑いながら形態を観察するのは診断学の常道である。そのとき、炎症性疾患だけではなく他の腫瘍性疾患も考慮に入れるのは当然だが、本号は特に炎症性疾患に限定し、胃癌との鑑別を狙いとして企画された。

隆起、平坦陥凹、びまんの所見別に各疾患の形態的な特徴が多く症例呈示でまとめられ、生検に頼るまいとする各執筆者の苦労が感じられる。ただ、陥凹病変において、日常的によく遭遇する胃潰瘍の、特に悪性サイクルにおける診断ポイントにも言及してほしかったし、生検の有用性につ

いて少し論じてもよかったのではないと思う。一時期低迷した拡大観察法による鑑別が2つの論文で報告されているが、胃でも大腸の pit pattern のような分類が果たして一般化されるか研究段階でとどまるか今後の展開をみたい。また、病理側から癌と誤診される可能性のある疾患が述べられ、臨床側はこのことを十分頭に入れて臨床診断に対応する必要があると考えられた。

胃癌はまだ多いが、日本には徹底した形態学的アプローチの手法を積んだ消化管診断学という国民にとって貴重な武器がある。愛読者の皆さんとともに胸を張りたい。

胃と腸

1月号（第38巻・第1号）予告

発売予定 1月25日
定価（本体2,400円＋税）

主題／胃癌—診断と治療の最先端

序 説	胃癌—診断と治療の最先端……………国立がんセンター東病院・内科	吉 田 茂 昭
主 題	胃癌—X線診断の最先端……………慶應義塾大学医学部・放射線診断科	杉野 吉則・他
	胃癌—内視鏡診断の最先端……………東京慈恵会医科大学・内視鏡科	田尻 久雄・他
	胃癌の超音波内視鏡診断……………JR仙台病院・消化器内視鏡センター	長南 明道・他
	胃癌の病理学的研究の進歩と臨床との接点……………国立がんセンター中央病院・臨床検査部	下田 忠和・他
	胃型・腸型腺癌の特性……………国立がんセンター東病院・臨床検査部細胞検査室	遠藤 泰志・他
	胃癌—内視鏡的治療の最先端……………静岡県立静岡がんセンター・内視鏡部	小野 裕之・他
	早期胃癌—外科的治療の最先端……………慶應義塾大学医学部・外科	大谷 吉秀・他
	胃癌—外科的治療の最先端—標準(的)治療 (欧米との比較)……………国立がんセンター中央病院・外科	笹 子 三津留
	胃癌—化学療法法の最先端……………国立がんセンター東病院・消化器内科	土井 俊彦・他
	胃癌の生物学的悪性度に 関する最新の知見……………九州大学生体防御医学研究所・細胞機能制御学部門分子腫瘍学分野	太田 光彦・他
座 談 会	胃癌治療ガイドラインをめぐる……………福岡大学筑紫病院・消化器科	八尾 恒良・他

胃と腸（第37巻 第13号）

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

2002年12月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,300円＋税)

2002年年ざめ予約購読料33,810円

(増刊号5,500円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎(03)3814-8541

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2002, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当)飯村・渡辺・阿野・小松原